

心理学基礎文献研究Ⅰ

科目ナンバリング PSY-201

必修 2単位

堀田 結孝

1. 授業の概要(ねらい)

人間の行動に関する実証的研究は、社会心理学において古くから行われているが、近年では経済学などの他の社会科学においても活発に行われている。この演習では、社会心理学及び周辺領域における人間の社会性(利他性や文化の形成など)に関する実証的研究についての文献を読む。

授業期間の前半ではテキストを読みながら基礎知識を学ぶ。後半ではテキストで紹介された事例に関連する他の文献を探し、より深く調べる。

レジュメ及びパワーポイントを用いて内容の発表を行うとともに、受講生の間で議論を行う。

2. 授業の到達目標

- ・社会心理学やその周辺領域における人間の社会行動に関して検討を行う研究分野の意義を理解し、代表的な知見について説明することができる。
- ・文献の要点をまとめて他者に伝える方法を身につけることができる。
- ・関連する文献を探すなど、自発的に情報を調べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業期間中、学生には何回か文献を調べて、その内容を発表する機会がある。発表はグループで行うものに加え、各自個人であるテーマに調べて発表をしてもらうものもある。これらの発表をメインに評価をする(70%)。更に、他の学生の発表内容を聞き、議論に参加しているか(教員の方から質問やコメントを促す)も成績評価の参考とする(30%)。

4. 教科書・参考文献

参考文献

アレックス・メスーディ 文化進化論：ダーウィン進化論は文化を説明できるか NTT出版
安西祐一郎他(編集) 社会のなかの共存(岩波講座 コミュニケーションの認知科学第4巻) 岩波書店

5. 準備学修の内容

テキストについては発表の担当にかかわらず全員事前に読んでおくこと。

発表の資料は他の受講生にもわかりやすいように準備しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業では学生に、グループ及び個人で文献を調べてその内容を発表してもらう。グループで発表するに際しては、他の受講生との協調性が必要になる。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:今後のスケジュール
- 【第2回】 テキストの紹介:文化進化論「第1章:文化的な種」より,文化進化の解説
- 【第3回】 テキストの紹介:文化進化論「第2章:文化進化」より,進化論の基礎
- 【第4回】 文献の調べ方,発表のしかたについて
- 【第5回】 学生たちの発表
文化進化論「第3章:文化の小進化」,「第4章:文化の大進化1」
- 【第6回】 学生たちの発表
文化進化論「第5章:文化の大進化2」,「第6章:進化の実験」
- 【第7回】 学生たちの発表
文化進化論「第7章:進化的民族誌学」,「第8章:進化経済学」
- 【第8回】 学生たちの発表
文化進化論「第9章:人間以外の種の文化」,「第10章:社会科学の進化的統合に向けて」
- 【第9回】 これまでのまとめ
- 【第10回】 学生たちの発表(自分で調べた内容を発表)
- 【第11回】 学生たちの発表(自分で調べた内容を発表)
- 【第12回】 学生たちの発表(自分で調べた内容を発表)
- 【第13回】 学生たちの発表(自分で調べた内容を発表)
- 【第14回】 学生たちの発表(自分で調べた内容を発表)
- 【第15回】 まとめ